

講義コード	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	開講期
科目名	マクロ経済学演習				辻村 雅子	第2期
履修前提条件					備考	
授業の目的	この演習では、マクロ経済学の講義内容を正しく理解し、自らの理解度を確認することを目的として、マクロ経済学の講義の進み方に合わせて練習問題を解く時間を与え、解説を行う。演習であるので、出席するだけでなく、演習時間に与えられる課題に取り組む必要がある。一般的なマクロ経済学の問題を、自らの力で解けるようになることが演習の重要な目的である。					
到達目標	この演習では、マクロ経済学の講義内容を理解し、練習問題を解く力をつけることができる。また、公務員等の各種資格試験の準備としても役立つ。					
授業外学修内容・授業外学修時間数	授業外学修時間は、最低でも60時間以上必要である。毎回の演習前に教科書と講義資料の内容や問題に目を通しておくこと。					
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>【第1回】 演習のガイダンス</li> <li>【第2回】 国民所得統計1</li> <li>【第3回】 国民所得統計2</li> <li>【第4回】 GDPの決定1</li> <li>【第5回】 GDPの決定2</li> <li>【第6回】 GDPの決定3</li> <li>【第7回】 資産市場1</li> <li>【第8回】 資産市場2</li> <li>【第9回】 IS/LMモデル1</li> <li>【第10回】 IS/LMモデル2</li> <li>【第11回】 IS/LMモデル3</li> <li>【第12回】 失業とインフレ/デフレ1</li> <li>【第13回】 失業とインフレ/デフレ2</li> <li>【第14回】 失業とインフレ/デフレ3</li> <li>【第15回】 まとめ</li> </ul>					
成績評価の方法	授業への取り組み姿勢（70%）と提出課題（30%）によって評価する。					
フィードバックの内容	リアクションペーパーに対するフィードバックは、翌週の講義内やポータルサイトにて行う。					
教科書	『マクロ経済学（第3版）』吉川洋（岩波書店）2009年					
指定図書						
参考書						
教員からのお知らせ	教科書とマクロ経済学の授業資料を必ず持ってくること。演習用の教材・資料および連絡事項を、学内のポータルサイトを利用して掲示する場合があるので、担当者の指示に従うこと。					
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付ける。					
その他	この演習は『マクロ経済学』と同時に履修することを前提とする。『マクロ経済学基礎』の単位を修得済みであることが望ましい。					